

GASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.
 (仮称)万代長岡京店新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境			0.35					2.5
1 音環境		2.6	0.15					2.6
1.1 騒音		3.0	0.40					
1 室内騒音レベル		3.0	1.00					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	1.00					
2 界壁遮音性能		-	-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-					
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		1.7	0.35					1.7
2.1 室温制御		2.5	0.50					
1 室温		3.0	0.43					
2 暖房・冷房設備		-	-					
3 外皮性能		1.0	0.21					
4 ゾーン別制御性		3.0	0.36					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
3 光・視環境		3.0	0.25					3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.47					
1 昼光率		-	-					
2 方位別開口		-	-					
3 昼光利用設備		3.0	1.00					
3.2 グレア対策		-	-					
1 眩光対策		-	-					
2 昼光制御		-	-					
3.3 照度		3.0	0.08					
3.4 照明制御		3.0	0.45					
4 空気質環境		2.9	0.25					2.9
4.1 発生源対策		3.0	0.50					
1 化学汚染物質		3.0	1.00					
2 発熱体対策		-	-					
3 放射熱対策		-	-					
4.2 換気		2.1	0.30					
1 換気量		3.0	0.42					
2 自然換気性能		3.0	0.16					
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.42					
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	喫煙室を設け、非喫煙者が煙に曝されないように対策を実施	5.0	0.50					
Q2 サービス性能		-	0.30					3.0
1 機能性		2.8	0.40					2.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性		-	-					
2 高度情報通信設備対応		-	-					
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30					
1 広さ感・景観	売場の天井高は、3.3m以上である	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	レストスペースが売り場面積の4%以上である	5.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		2.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31					2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管(HIVP)→B、汚水管(VP)→B、雑排水管(VP)→B、(SGP)→C	5.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			2.6	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.6	0.29		-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31		-	
1	階高のゆとり	平均階高は3.9m以上である	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1未満である	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.35		-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
	3.1 地域性への配慮・快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.8
1 建物の熱負荷抑制		ΔPAL=34.4%	4.9	0.16		-	4.9
2 自然エネルギー利用			3.5	0.24		-	3.5
	2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルを設置している	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		ERR換算値=21.1%	4.3	0.36		-	4.3
	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	ERR換算値=21.1%	4.3			-	
	集合住宅の評価					-	
4 効率的運用			3.0	0.24		-	3.0
	4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
	1.1 節水	自動水栓に加え、節水型便器を用いている	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.67		-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63		-	2.7
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21		-	
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.21		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地材を使用している	4.0	0.25		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22		-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.68		-	
	1	消火剤	-	-		-	
	2	発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50		-	
	3	冷媒	3.0	0.50		-	
		発泡剤を用いた断熱材等を使用していない				-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2=88%	3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制	3.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1	騒音	3.0	0.50		-	
	2	振動	3.0	0.50		-	
	3	悪臭	-	-		-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制	3.0	0.70		-	
	2	砂塵の抑制		-		-	
	3	日照阻害の抑制	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	
		「光害対策ガイドライン」のチェックリスト・「広告物照明の扱い」の配慮事項の過半を満たす				-	